



## 避難所生活（テント設営）体験を行いました

5月21日（火）に、避難所生活体験を行いました。津島市の備蓄品であるテントとマットを使い、班で協力してテントを設営しました。実際に津島市で災害が起き、体育館で生活する時に使用するテントです。今回の体験で経験したことを実際の場面で活かしてほしいと思います。

生徒は4人で協力してテントを設営しました。苦勞している様子もありましたが、何とか全員でやり遂げることができました。テントを設営した後は、体育館の床とマットの上で寝心地を比べました。また、テントがあるのとなないのとは、避難者のプライバシーがどの程度変わるのかも体験しました。最後に振り返りを行い、数名の生徒が発表をしました。



### 生徒の振り返り

・テントは思っていたよりもかなり広くて、こういう物が備えられているのとないよりもストレスを感じすぎず生活できると思った。

・床の上は硬く、腰が痛くて寝心地は良くなかったけど、ロールマットの上だと腰が楽で、寝心地が良かった。ロールマットのあるかないかで全然違うと思った。組み立ては簡単だけど、小学生が組み立てるのは難しいと思ったから、私たち中学生が率先して行動することが大切だと思った。

・テントを作るまでにだいぶ時間がかかってしまった。本番でそんなことは言ってもらえないので、もっと早く準備できるようにしたいと思った。暁中学校は実際に避難所として使われる場所だから、防災についてもっと詳しく知りたいと思った。

・テントを立てるのは1人では難しいと感じた。だから、避難所での生活は助け合いと協力が大切だと思った。